

事務局報

2021年8月26日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

〔第149回〕銀行業務検定試験成績発表

営業店マネジメントⅠ・Ⅱが好成績

去る2021年6月6日(日)に実施した第149回銀行業務検定試験の成績結果がまとまりましたので、以下のとおり報告します。

法務2級

「法務2級」の成績結果は、「表-1」のとおりです。

応募者数3,343名中受験者は2,771名で、合格者は847名でした。合格率は30.57%、平均点は42.08点で、ともに前回を下回りました。

最高点は88点で、永山皓太さん(中国銀行)

が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点をみていくと、〈預金〉の分野では〔問題-1〕普通預金の取引停止の問題が4.53点となっています。〔問題-2〕偽造・盗難カード預貯金者保護法の問題は6.04点となりました。本間は択一の正解率も高く、また記述も多くの答案が高得点でした。〔問題-3〕預金に対する差押え・滞納処分競合の問題は4.11点となりました。滞調法および民事執行法の条文の仕組み・趣旨を整理し、事案に適した条文に基づき論じることが要求される問題でしたが、適用条文の誤りが選択肢の正誤判断の誤りにつながり、得点が伸びない答案が散見されました。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-4〕手形の偽造・変造の問題は6.26点となりました。こちらの問題も択一の正解率が高く、記述も高得点

主要項目

- ▶ 〈第149回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 10月試験のご案内

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

(合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 協 農	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	87	1,190	55	156	1,232	82	86	28	2	0	3	422	3,343
応募比率	2.60	35.60	1.65	4.67	36.85	2.45	2.57	0.84	0.06	0.00	0.09	12.62	100.00
受験者数	69	1,005	31	125	1,086	70	76	24	1	0	3	281	2,771
受験率	79.31	84.45	56.36	80.13	88.15	85.37	88.37	85.71	50.00	0.00	100.00	66.59	82.89
合格者数	38	336	17	37	277	16	15	8	0	0	2	101	847
合格率	55.07	33.43	54.84	29.60	25.51	22.86	19.74	33.33	0.00	0.00	66.67	35.94	30.57
平均点	49.84	43.02	50.29	41.12	40.39	37.67	40.50	43.63	47.00	0.00	49.67	44.15	42.08
年齢	27.3	32.1	32.9	37.9	37.8	40.7	39.6	37.0	35.0	0.0	45.0	35.5	35.3
勤続年数	4.4	9.4	9.6	14.7	15.0	17.8	16.8	11.7	13.0	0.0	21.0	12.1	12.5

の答案が多く見られました。〔問題－5〕呈示期間経過後の手形の支払呈示の問題は3.22点となりました。手形交換所規則、手形法の条文、関係判例を注意深く読めば容易に正解に至ることが可能であり、日頃の学習においても留意してほしいところです。〔問題－6〕手形の善意取得と除権決定の問題は4.30点となりました。

〈融資〉の分野では、〔問題－7〕仮差押えの問題は2.18点となりました。白紙答案が多く、また根拠条文を探しきれず、異なる仮差押えの規定や民事執行に関する規定を記載したものが多く見られました。〔問題－8〕抵当権の実行と第三者の抵当権の消滅手続の問題は3.98点となりました。〔問題－9〕信用保証協会の保証の問題は4.96点となりました。本問は、条文・判例に基づいた解答が多い反面、独自の見解を主張する誤った解答も目立ちました。根拠となる信用保証協会保証契約約定書例と判決年月日を明示した解答が望まれます。〔問題－10〕共同根抵当権の問題は2.49点となりました。〔問題－10〕は難易度の高さや時間との関係からか、点数が低い結果となっています。

すべての問題に共通することですが、①条文や判例等の根拠の提示→②事例・選択肢との比較・あてはめ→③結論（各選択肢の正誤判断）という基本的な論述形式を心がけてください。

法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表－2〕のとおり

です。

応募者数10,629名中受験者は9,562名で、合格者は2,865名でした。合格率は29.96%、平均点は50.70点で、ともに前を下回りました。

最高点は98点で、宮本萌衣さん（静銀モーゲージサービス）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈預金〉の分野では〔問－1〕預金通帳・証書の法的性質の1問、〈融資〉の分野では〔問－16〕個人貸金等根保証契約、〔問－18〕割引手形の買戻請求権、〔問－20〕債権譲渡の対抗要件、〔問－22〕相殺、〔問－23〕抵当権の実行としての担保不動産競売手続の5問、〈決済〉の分野では〔問－33〕約束手形の支払呈示期間、〔問－35〕手形・小切手の消滅時効期間の2問で、計8問でした。

このうち〔問－1〕は、預金通帳・証書の法的性質を問うものでした。預金通帳・証書は、当該預金者に対して銀行が預金債務を負うことを証明する証拠証券であって、それを持参した者から払戻しを請求された場合、銀行が印鑑照合など相当な注意を尽くして本人と認めて払戻しをした場合には免責されるという免責証券の性質を有しています。基本的な知識として、正確に理解しておくことが期待されます。

他方、〈銀行取引関連法〉分野では、正解率が30%以下となった問題はなく、好成績でした。

財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－3〕のとおり

〔表－2〕法務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	183	2,514	158	929	3,467	543	1,418	449	4	0	53	911	10,629
応募比率	1.72	23.65	1.49	8.74	32.62	5.11	13.34	4.22	0.04	0.00	0.50	8.57	100.00
受験者数	170	2,295	127	806	3,219	486	1,304	382	2	0	48	723	9,562
受験率	92.90	91.29	80.38	86.76	92.85	89.50	91.96	85.08	50.00	0.00	90.57	79.36	89.96
合格者数	65	729	58	216	976	116	324	89	2	0	15	275	2,865
合格率	38.24	31.76	45.67	26.80	30.32	23.87	24.85	23.30	100.00	0.00	31.25	38.04	29.96
平均点	54.95	51.63	57.50	49.87	50.85	48.56	47.68	48.55	79.00	0.00	50.79	53.79	50.70
年齢	24.7	26.7	25.4	26.5	28.3	29.9	33.3	29.8	60.0	0.0	35.9	31.2	28.7
勤続年数	1.3	3.9	3.3	4.0	6.0	7.6	11.2	5.1	39.5	0.0	12.8	7.0	6.0

です。

応募者数 6,480 名中受験者は 5,273 名で、合格者は 1,518 名でした。合格率は 28.79%、平均点は 47.20 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 95 点で、越山拓海さん(全国信用金庫協会)が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題－7〕正常運転資金、CCCの算出と分析(平均点：2.78点)でした。次に低かった問題は、〔問題－9〕営業活動によるキャッシュ・フローの作成と分析(直接法)(平均点：3.41点)でした。

〔問題－4〕は、正常運転資金、回転日数、CCCを算出し、前期と当期を比較分析する問題です。回転日数やCCCの算出は財務3級でも出題されていますが、財務2級では久しぶりに出題されたこともあり、平均点は低調でした。

〔問題－9〕は、比較貸借対照表と損益計算書から営業活動によるキャッシュ・フローの区分を直接法により作成し、営業活動によるキャッシュ・フローの状況を分析する問題です。過去にも出題されている問題でしたが、平均点は低調でした。

一方で、〔問題－1〕修正仕訳と貸借対照表項目の作成、〔問題－8〕生産性分析は、よく解答できていました。

全体の傾向として、四捨五入か切上げかの指示に沿わない金額等を記載する誤り、設問の指示にある計算過程を明示しない、単位の表示の誤りといったミスが多く見受けられました。

学習する際には、設問の指示に留意してケアレスミスなく解答できるよう、問題演習を行ってください。

財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数 11,058 名中受験者は 9,712 名で、合格者は 3,324 名でした。合格率は 34.23%、平均点は 50.57 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 98 点で、高原美希さん(千葉銀行)、野口大輔さん(岐阜信用金庫)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕企業会計原則の一般原則、〔問－8〕法人クレジットカード決済の仕訳、〔問－10〕破産更生債権等、〔問－21〕当期製品製造原価の額の算出の4問でした。

〔問－8〕は、法人用クレジットカードを使用して旅費交通費等の経費を支払った場合の仕訳に関する問題でした。本問では、主たる営業取引以外の非継続的な(単発の)取引で利用されるものなので、「未払金」で処理することになります。

〔問－21〕は、当期製品製造原価の額の算出の問題でした。本問は、数年ぶりに出題されましたが、当期総製造費用の額の算出の問題と誤って解答した受験者が多く見られました。

本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できる学習が期待されます。

〔表－3〕財務2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	251	2,524	113	436	1,817	72	79	10	24	1	3	1,150	6,480
応募比率	3.87	38.95	1.74	6.73	28.04	1.11	1.22	0.15	0.37	0.02	0.05	17.75	100.00
受験者数	231	2,123	74	334	1,554	57	66	10	17	0	3	804	5,273
受験率	92.03	84.11	65.49	76.61	85.53	79.17	83.54	100.00	70.83	0.00	100.00	69.91	81.37
合格者数	115	553	33	64	332	12	33	4	13	0	1	358	1,518
合格率	49.78	26.05	44.59	19.16	21.36	21.05	50.00	40.00	76.47	0.00	33.33	44.53	28.79
平均点	58.61	46.05	54.54	43.08	43.19	43.32	56.09	47.10	65.35	0.00	50.00	54.91	47.20
年齢	25.3	30.0	28.5	34.3	35.8	35.8	32.1	33.2	30.6	0.0	43.3	31.4	32.1
勤続年数	2.6	7.6	4.8	11.9	13.4	13.5	9.5	10.9	6.6	0.0	19.7	7.8	9.5

財務4級

「財務4級」の成績結果は、〔表-5〕のとおりです。

応募者数2,300名中受験者は2,159名で、合格者は1,346名でした。合格率は62.34%、平均点は64.53点で、ともに前回は上回る結果となりました。

最高点は100点で、荒木美佐子さん（播州信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題はありませんでしたが、〔問-15〕破産更生債権等に該当する債権、〔問-22〕債務を示す勘定科目の2問の正答率がやや低くなりました。

〔問-15〕は、破産更生債権等に該当する債権を選択する問題でした。破産更生債権等の債務者については、①経営破綻に陥っている債務者（法的、形式的な経営破綻の事実が発生している債務者）をいいます。経営破綻の状態には至っていない

が、債務の弁済に重大な問題が生じているか、または生じる可能性の高い債務者に対する債権は、貸倒懸念債権に該当します。

一方で、正解率が80%を超えた問題は、〔問-1〕簿記上の取引となるもの、〔問-2〕貸借対照表等式、〔問-4〕資産と負債の減少が同時に生じる取引、〔問-12〕三分割法による商品売上の会計処理、〔問-25〕売上原価の額の算出、〔問-39〕借入金・当座預金・支払利息、〔問-46〕自己資本比率と負債比率の7問でした。

本種目では、簿記の基本、各勘定取引、財務諸表、財務分析と幅広く出題されます。上級の3級や2級で応用が利くように基礎レベルの知識をしっかりと身につけることが求められます。

信託実務3級

「信託実務3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおりです。

〔表-4〕財務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	403	3,087	139	776	3,794	601	668	29	179	8	104	1,270	11,058
応募比率	3.64	27.92	1.26	7.02	34.31	5.43	6.04	0.26	1.62	0.07	0.94	11.48	100.00
受験者数	388	2,765	104	673	3,432	541	578	26	141	8	84	972	9,712
受験率	96.28	89.57	74.82	86.73	90.46	90.02	86.53	89.66	78.77	100.00	80.77	76.54	87.83
合格者数	283	990	49	191	949	122	173	12	54	5	18	478	3,324
合格率	72.94	35.80	47.12	28.38	27.65	22.55	29.93	46.15	38.30	62.50	21.43	49.18	34.23
平均点	67.33	51.52	56.44	48.85	47.85	45.10	46.78	52.62	48.70	64.50	43.90	57.28	50.57
年齢	23.4	26.7	26.5	28.0	29.1	31.2	33.3	32.2	29.9	25.1	37.4	31.4	28.8
勤続年数	1.3	4.3	4.1	5.4	7.2	9.1	11.2	6.2	6.9	1.7	14.6	7.7	6.4

〔表-5〕財務4級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	66	0	304	1,206	259	289	12	0	0	0	163	2,300
応募比率	0.04	2.87	0.00	13.22	52.43	11.26	12.57	0.52	0.00	0.00	0.00	7.09	100.00
受験者数	1	63	0	284	1,147	236	272	11	0	0	0	145	2,159
受験率	100.00	95.45	0.00	93.42	95.11	91.12	94.12	91.67	0.00	0.00	0.00	88.96	93.87
合格者数	1	45	0	151	772	136	126	8	0	0	0	107	1,346
合格率	100.00	71.43	0.00	53.17	67.31	57.63	46.32	72.73	0.00	0.00	0.00	73.79	62.34
平均点	78.00	69.08	0.00	61.01	66.50	61.58	58.90	65.45	0.00	0.00	0.00	69.10	64.53
年齢	51.0	23.7	0.0	23.1	24.6	24.3	26.1	33.5	0.0	0.0	0.0	29.5	24.9
勤続年数	27.0	1.9	0.0	1.6	3.5	2.8	4.0	6.2	0.0	0.0	0.0	4.7	3.4

応募者数 2,031 名中受験者は 1,756 名で、合格者は 1,121 名でした。合格率は 63.84%、平均点は 64.77 点で、ともに前回は上回り好成績となりました。

最高点は 100 点で、臼井充さん（岐阜信用金庫）、濱田佳那さん（りそな銀行）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－41〕不動産の信託にかかる税制上の取扱いの 1 問でした。税制に関する出題を苦手とする受験者が多い傾向があり、本問も過去の類題と同様に低調な結果になりました。

一方、正解率が 80% 以上となった問題は、〔問－24〕確定拠出年金制度（個人型年金）、〔問－26〕年金税制、〔問－28〕有価証券の信託、〔問－34〕証券投資信託の委託者、〔問－37〕資産流動化の対象資産、〔問－40〕動産信託の 6 問でした。各問題ともに正答として選ぶ選択肢が過去に類出の内容であり、多くの受験者が正答を選びやすかったと考えられます。

得点状況は、全般的に好成績でした。出題内容のレベル感は例年と同様かやや難しめではありましたが、問題解説集により出題傾向を十分に掴み、参考書等をよく学習された受験者が多かったことが好成績につながったものと考えられます。

本種目の学習においては、信託の基本的な考え方を理解し、制度を正確に把握することが重要です。基本書となる参考書や通信講座を学習するとともに、各種関連法令にも実際にあたることをお

勧めいたします。

金融経済3級

「金融経済3級」の成績結果は、〔表－7〕のとおりです。

応募者数 1,954 名中受験者は 1,767 名で、合格者は 869 名でした。合格率は 49.18%、平均点は 57.33 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 92 点で、兼村知臣さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈金融〉の分野では〔問－5〕わが国の株式市場、〔問－6〕わが国の商品市場、〔問－12〕各種株式指標、〔問－21〕わが国の対外投資・対内投資、〔問－29〕金融経済関連用語の 5 問、〈財政〉の分野では〔問－47〕わが国の予算制度、〔問－49〕財政投融资計画、〔問－50〕税の種類と用途の 3 問で、計 8 問でした。

本種目の範囲には時事問題が含まれます。たとえば第 143 回の試験では貿易摩擦に関する出題があり、今回は ESG に関する出題がありました。過去問題を学習するだけでなく、世界経済および日本経済に大きな影響を与えているトピックスに注目することが、試験での高得点につながります。

デリバティブ3級

「デリバティブ3級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

〔表－6〕信託実務3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	32	548	518	38	317	5	38	4	2	0	1	528	2,031
応募比率	1.58	26.98	25.50	1.87	15.61	0.25	1.87	0.20	0.10	0.00	0.05	26.00	100.00
受験者数	28	501	469	33	295	5	33	4	2	0	1	385	1,756
受 験 率	87.50	91.42	90.54	86.84	93.06	100.00	86.84	100.00	100.00	0.00	100.00	72.92	86.46
合格者数	18	311	347	17	164	3	12	4	2	0	1	242	1,121
合 格 率	64.29	62.08	73.99	51.52	55.59	60.00	36.36	100.00	100.00	0.00	100.00	62.86	63.84
平均点	68.00	63.67	69.89	60.00	61.53	60.00	53.15	83.50	63.00	0.00	76.00	63.46	64.77
年 齢	26.7	35.8	27.0	36.2	39.7	40.4	47.0	41.8	34.0	0.0	26.0	35.5	34.1
勤続年数	3.8	13.0	3.3	13.6	16.8	18.0	24.7	6.5	12.0	0.0	4.0	10.1	10.7

応募者数774名中受験者は618名で、合格者は221名でした。合格率は35.76%、平均点は51.09点で、合格率は前回は上回りましたが平均点は前回を下回りました。

最高点は88点で、重栖太郎さん(商工組合中央金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-3〕デリバティブの特徴、〔問-13〕日経平均先物取引、〔問-15〕金標準先物取引、〔問-20〕コールの理論価格とデルタの計算、〔問-32〕財務省の金利スワップ利用、〔問-47〕LIBOR代替とRFRの6問と平均的によく得点されていました。

〔問-15〕〔問-32〕〔問-47〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問-3〕は、正解の選択肢によって正解率が大きく変動する傾向にある問題で、今回は受験者にとって苦手な選択肢が正解であったといえま

す。

〔問-13〕は、前回の同テーマの出題が2017年でしたので、受験者にとって新テーマに準じる難しさがあったと推測されます。

〔問-20〕は、受験者が苦手としているテーマで、過去出題時より低調な結果となりました。

当初、2021年末に公表停止とされていたLIBORについて、米ドルの一部テナーに対して公表停止時期の延期が公表されました。延期されるとはいえ、多くの金利指標が代替金利に代わることに違いはありません。最新の情報を入手し、活用できるようにしておいてください。

窓口セールス3級

「窓口セールス3級」の成績結果は、〔表-9〕のとおりです。

応募者数1,250名中受験者は1,175名で、合格者は510名でした。合格率は43.40%、平均点は

〔表-7〕金融経済3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	17	1,009	61	65	246	39	65	24	60	13	16	339	1,954
応募比率	0.87	51.64	3.12	3.33	12.59	2.00	3.33	1.23	3.07	0.67	0.82	17.35	100.00
受験者数	15	935	55	55	225	37	61	21	48	12	15	288	1,767
受験率	88.24	92.67	90.16	84.62	91.46	94.87	93.85	87.50	80.00	92.31	93.75	84.96	90.43
合格者数	9	500	29	16	97	22	29	8	17	6	10	126	869
合格率	60.00	53.48	52.73	29.09	43.11	59.46	47.54	38.10	35.42	50.00	66.67	43.75	49.18
平均点	61.87	58.77	58.65	50.62	55.19	59.73	56.30	53.33	52.88	56.67	60.13	55.93	57.33
年齢	32.1	29.8	34.1	36.8	37.5	34.2	34.7	34.7	32.3	27.8	43.7	37.1	32.8
勤続年数	8.1	7.4	9.8	14.2	15.4	10.3	11.9	8.9	8.5	3.8	20.9	12.3	9.9

〔表-8〕デリバティブ3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	121	278	65	12	24	1	5	7	0	3	1	257	774
応募比率	15.63	35.92	8.40	1.55	3.10	0.13	0.65	0.90	0.00	0.39	0.13	33.20	100.00
受験者数	110	232	52	10	19	1	5	4	0	3	1	181	618
受験率	90.91	83.45	80.00	83.33	79.17	100.00	100.00	57.14	0.00	100.00	100.00	70.43	79.84
合格者数	49	72	25	1	6	0	3	2	0	1	1	61	221
合格率	44.55	31.03	48.08	10.00	31.58	0.00	60.00	50.00	0.00	33.33	100.00	33.70	35.76
平均点	55.07	49.21	54.04	44.40	47.68	36.00	54.40	57.50	0.00	46.67	66.00	50.81	51.09
年齢	29.4	32.7	30.3	38.6	39.3	45.0	31.0	43.0	0.0	43.3	51.0	33.0	32.5
勤続年数	7.2	9.9	7.3	15.6	16.9	22.0	6.8	19.3	0.0	11.7	33.0	9.7	9.6

56.68点で、合格率は前回は下回りましたが平均点は前回は上回りました。

最高点は92点で、清水翠さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕取引時確認、〔問-9〕代金取立、〔問-13〕国債の利回り等、〔問-15〕年金の請求手続、〔問-16〕財形貯蓄、〔問-20〕キャッシュレス決済、〔問-34〕新窓販国債の商品性、〔問-42〕勧誘可能商品、〔問-44〕贈与税の計算の9問でした。

「取引時確認」は、マネー・ローンダリング対策の観点からも重要な手続のため、通信講座や問題解説集、各団体の公表文書等を活用し、ケース別の対応を正確に理解することが大切です。

■ 法人融資涉外2級

「法人融資涉外2級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数645名中受験者は542名で、合格者は124名でした。合格率は22.88%、平均点は48.16点で、ともに前回は上回りました。

最高点は77点で、宮崎隆仁さん(三井住友銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が5点を越えた問題は、II〔取引先企業の生産性分析〕、III〔季節資金および決算・賞与資金〕、V〔取引先企業からの貿易の相談〕、VII〔事業承継〕、VIII〔取引先の財務分析(キャッシュ・フロー分析)〕の5問でした。

一方、平均点が3点以下の問題はありませんでした。VI〔集合流動資産譲渡担保〕の平均点が低い結果となりました。このテーマは、金融機関が円滑な資金調達を望む顧客ニーズに対応していくうえで、今後さらに必要性が高まる実践的な知識です。本問を見直し、今後の実務の参考にしてください。

〔表-9〕 窓口セールス3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	11	491	0	86	417	45	103	11	0	0	1	85	1,250
応募比率	0.88	39.28	0.00	6.88	33.36	3.60	8.24	0.88	0.00	0.00	0.08	6.80	100.00
受験者数	11	462	0	75	397	41	100	11	0	0	1	77	1,175
受験率	100.00	94.09	0.00	87.21	95.20	91.11	97.09	100.00	0.00	0.00	100.00	90.59	94.00
合格者数	6	258	0	30	142	10	21	8	0	0	0	35	510
合格率	54.55	55.84	0.00	40.00	35.77	24.39	21.00	72.73	0.00	0.00	0.00	45.45	43.40
平均点	61.64	60.40	0.00	56.16	54.24	51.37	48.62	62.73	0.00	0.00	44.00	59.38	56.68
年齢	28.6	29.2	0.0	29.7	29.8	28.4	28.8	30.7	0.0	0.0	22.0	34.4	29.7
勤続年数	5.5	6.8	0.0	7.5	7.5	8.8	7.7	6.4	0.0	0.0	0.0	9.1	7.4

〔表-10〕 法人融資涉外2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	12	353	0	28	107	19	2	0	0	0	0	124	645
応募比率	1.86	54.73	0.00	4.34	16.59	2.95	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	19.22	100.00
受験者数	11	310	0	21	88	18	1	0	0	0	0	93	542
受験率	91.67	87.82	0.00	75.00	82.24	94.74	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75.00	84.03
合格者数	7	70	0	2	17	1	0	0	0	0	0	27	124
合格率	63.64	22.58	0.00	9.52	19.32	5.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	29.03	22.88
平均点	55.45	48.53	0.00	42.38	43.26	41.33	54.00	0.00	0.00	0.00	0.00	53.25	48.16
年齢	27.5	33.6	0.0	35.9	38.4	40.1	41.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.3	34.4
勤続年数	5.1	11.2	0.0	13.3	15.0	19.1	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	11.7

法人融資渉外3級

「法人融資渉外3級」の成績結果は、〔表-11〕のとおりです。

応募者数1,092名中受験者は930名で、合格者は287名でした。合格率は30.86%、平均点は51.40点で、ともに前回は上回りました。

最高点は81点で、長井哲弥さん（伊予銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は〈基本知識（択一式）〉と〈技能応用（記述式）〉で構成されています。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問-4〕改正民法、〔問-9〕抵当権の設定とその効力、〔問-12〕事業承継税制の特例、〔問-30〕流動資産担保融資保証制度の条件等、〔問-31〕流動資産担保融資保証制度の実行と留意事項の5問でした。

〈技能応用〉の3題の平均点は、各10点中、〔問題-1〕資金繰り分析が5.64点、〔問題-2〕破

産した取引先への対応が2.91点、〔問題-3〕コンプライアンスが5.90点でした。

昨年4月に施行された民法の改正に関する問題や破産した取引先への対応等、法務分野の正解率が低い一方、取引先の財務分析等の財務分野の正解率は高い傾向がみられました。さらに、事業承継税制の特例や新型コロナウイルス感染症特別貸付等、近年の施策についての知識なども出題されており、幅広い知識と理解が求められます。

個人融資渉外3級

「個人融資渉外3級」の成績結果は、〔表-12〕のとおりです。

応募者数1,166名中受験者は1,087名で、合格者は269名でした。合格率は24.75%、平均点は47.72点で、ともに前回は下回りました。

最高点は85点で、河野洋之さん（多摩信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表-11〕法人融資渉外3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	43	383	0	138	334	77	23	0	0	0	0	94	1,092
応募比率	3.94	35.07	0.00	12.64	30.59	7.05	2.11	0.00	0.00	0.00	0.00	8.61	100.00
受験者数	33	336	0	115	289	67	21	0	0	0	0	69	930
受験率	76.74	87.73	0.00	83.33	86.53	87.01	91.30	0.00	0.00	0.00	0.00	73.40	85.16
合格者数	14	129	0	39	61	5	13	0	0	0	0	26	287
合格率	42.42	38.39	0.00	33.91	21.11	7.46	61.90	0.00	0.00	0.00	0.00	37.68	30.86
平均点	56.73	54.18	0.00	52.04	47.06	45.60	58.67	0.00	0.00	0.00	0.00	55.81	51.40
年齢	25.5	29.6	0.0	33.9	33.6	37.3	32.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	32.1
勤続年数	3.4	7.2	0.0	11.1	11.4	15.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	9.7

〔表-12〕個人融資渉外3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	0	401	1	68	295	72	249	16	1	0	0	63	1,166
応募比率	0.00	34.39	0.09	5.83	25.30	6.17	21.36	1.37	0.09	0.00	0.00	5.40	100.00
受験者数	0	374	1	61	282	67	236	15	0	0	0	51	1,087
受験率	0.00	93.27	100.00	89.71	95.59	93.06	94.78	93.75	0.00	0.00	0.00	80.95	93.22
合格者数	0	132	1	7	68	12	22	3	0	0	0	24	269
合格率	0.00	35.29	100.00	11.48	24.11	17.91	9.32	20.00	0.00	0.00	0.00	47.06	24.75
平均点	0.00	53.56	61.00	44.80	49.51	46.85	36.15	43.53	0.00	0.00	0.00	54.06	47.72
年齢	0.0	33.5	29.0	32.7	33.0	34.1	31.0	32.9	0.0	0.0	0.0	37.5	33.0
勤続年数	0.0	10.9	0.0	9.2	11.3	12.7	7.5	7.6	0.0	0.0	0.0	13.5	10.5

本種目は、五答択一式15問、事例付五答択一式20問および事例付記述式3題で構成されています。

〈基本知識〉の五答択一式および事例付五答択一式で正解率30%以下となった問題は、〔問-11〕債務引受契約、〔問-18〕住宅金融支援機構【フラット35】の商品性、〔問-20〕国の教育ローンの商品性、〔問-34〕遺言代用信託の計4問でした。

一方、正解率80%以上となった問題は、〔問-7〕住宅総合保険と団体信用生命保険、〔問-16〕住宅ローンの借入相談への対応、〔問-30〕第三者弁済の申出への対応の計3問でした。

〈技能応用〉の事例付記述式は〔問題-3〕相続対策と店舗併用物件のメリット・デメリットが出題した3題のなかでは低調な結果となりました。

得点状況については、全般的には学習度合いに応じてよく得点できていました。

個別の問題を見ていきますと、択一式問題は、極端に正解率が好調なものや低調な問題が少なく、良好な得点状況でした。記述式問題は、いずれの問題も比較的よく解答されていましたが、各問題とも得点には大きな差が見られました。

今回は、択一式問題は標準的な成績であったことから、記述式問題の得点の差が最終的な合否に大きな影響を与えたものと考えられます。

本種目は個人にかかる渉外業務に携わるうえで必要な業務知識の習得度合いを総合的に判定する

ものであり、出題内容が多岐にわたります。学習に際しては、融資業務の基本事項に加え、いままでの業務を通して積み重ねてきた法務・財務・税務等の基本的な知識を再確認しておくことが重要となります。

金融リスクマネジメント2級

「金融リスクマネジメント2級」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数537名中受験者は461名で、合格者は124名でした。合格率は26.90%、平均点は50.31点で、ともに前を下回りました。

最高点は81点で、秋山裕紀さん（中国銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四答択一式35問と記述式3題で構成されています。

四答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問-21〕令和2事務年度金融行政方針の1問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-4〕リスクマネジメント・プロセス、〔問-30〕障がい者等への配慮の2問でした。

本種目の学習にあたっては、過去問題で出題傾向を把握し、毎事務年度の金融行政方針をはじめとする関連資料や、大きな法改正のあった法令などを確認・整理しておくことが大切です。

〔表-13〕金融リスクマネジメント2級・業態別成績一覧表(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	6	199	3	106	86	8	13	72	0	0	0	44	537
応募比率	1.12	37.06	0.56	19.74	16.01	1.49	2.42	13.41	0.00	0.00	0.00	8.19	100.00
受験者数	5	172	2	94	69	5	13	66	0	0	0	35	461
受験率	83.33	86.43	66.67	88.68	80.23	62.50	100.00	91.67	0.00	0.00	0.00	79.55	85.85
合格者数	2	62	0	24	15	2	2	8	0	0	0	9	124
合格率	40.00	36.05	0.00	25.53	21.74	40.00	15.38	12.12	0.00	0.00	0.00	25.71	26.90
平均点	60.80	53.98	50.00	50.85	48.33	57.00	41.85	42.41	0.00	0.00	0.00	50.34	50.31
年齢	40.2	40.2	35.5	40.1	41.4	43.2	40.1	38.0	0.0	0.0	0.0	42.1	40.2
勤続年数	18.2	17.6	13.0	17.4	19.1	21.8	16.6	15.2	0.0	0.0	0.0	17.5	17.5

金融商品取引3級

「金融商品取引3級」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数982名中受験者は880名で、合格者は202名でした。合格率は22.95%、平均点は49.23点で、ともに前を下回りました。

最高点は86点で、宇都宮夕莉さん（伊予銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下の問題は、〔問-25〕特定保険契約における適合性原則、〔問-26〕金融商品取引法の規制が準用されない事項、〔問-27〕保険契約者保護機構、〔問-38〕損失補填の禁止、〔問-39〕投資信託の広告規制、〔問-41〕投資信託の共通KPI、〔問-44〕タイミング規制、〔問-49〕デリバティブを内包する預金に関するガイドラインの8問でした。

〔問-25〕〔問-26〕〔問-41〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問-27〕は定番のテーマであったものの、初出の選択肢が正解であったことから、難度の高い問題であったといえます。

〔問-38〕は金融商品販売の実務上、必ず知っておいていただきたい内容でした。

〔問-39〕は、「基本知識」で出題する場合は平均的な正解率であったのですが、「技能・応用」では低い正解率となりました。

〔問-49〕は、定番のテーマであるにもかかわらず正解率が低くなりました。

事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数1,299名中受験者は1,162名で、合格者は596名でした。合格率は51.29%、平均点は59.02点で、ともに前を下回りました。

最高点は96点で、宮野英明さん（岡崎信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問-11〕クロスS W O T分析、〔問-14〕バランス・スコアカード、〔問-17〕総額人件費、〔問-28〕外部専門家の活用、〔問-29〕BCP、〔問-34〕取引先が属する業界の理解（飲食業）、〔問-35〕取引先が属する業界の理解（介護業）の7問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-1〕コロナ禍における地域金融機関の役割、〔問-3〕金融機関と企業のコミュニケーション、〔問-4〕金融検査マニュアル廃止後の金融仲介機能、〔問-5〕規制緩和と顧客との共通価値の創造について、〔問-19〕コンサルティング機能の発揮、〔問-22〕経営者保証に関するガイドライン、〔問-23〕中小企業に活かす公的支援、〔問-25〕地域に根差した地域金融機関のあり方、〔問-32〕事業計画の策定、〔問-43〕売上構成の変化に伴う粗利率の計算、〔問-46〕財務・非財務の連関、〔問-47〕知的資産経営、〔問-49〕創業支援の13問でした。

事業性評価を行うためには、取引先の属する

〔表-14〕 金融商品取引3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	58	421	6	49	248	13	28	31	0	6	0	122	982
応募比率	5.91	42.87	0.61	4.99	25.25	1.32	2.85	3.16	0.00	0.61	0.00	12.42	100.00
受験者数	58	378	6	43	225	11	25	28	0	6	0	100	880
受験率	100.00	89.79	100.00	87.76	90.73	84.62	89.29	90.32	0.00	100.00	0.00	81.97	89.61
合格者数	12	107	2	6	27	2	4	9	0	0	0	33	202
合格率	20.69	28.31	33.33	13.95	12.00	18.18	16.00	32.14	0.00	0.00	0.00	33.00	22.95
平均点	49.97	52.30	56.00	44.51	44.67	45.45	42.72	49.57	0.00	46.00	0.00	51.20	49.23
年齢	23.3	32.9	36.7	36.3	32.4	40.1	36.5	32.1	0.0	33.7	0.0	37.2	33.0
勤続年数	1.4	10.7	14.0	11.6	10.5	18.6	13.4	8.7	0.0	5.3	0.0	13.1	10.4

様々な業界について理解を深めておくことが重要です。また、外部専門家等の活用方法についても事前に理解しておくことで、取引先に幅広い支援を提供することが可能となります。本種目で得た知識を、実務で活用してください。

■ 営業店マネジメント I

「営業店マネジメント I」の成績結果は、〔表-16〕のとおりです。

応募者数 1,071 名中受験者は 922 名で、合格者は 288 名でした。合格率は 31.24%、平均点は 55.90 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 77 点で、細川達矢さん（福井銀行）、八木静香さん（清水銀行）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

10 題中、平均点が 5 点を下回ったのは、〈労務管理〉の分野で出題した〔問題-4〕非正規社員のための働きやすい環境づくり、〈経営関連一般

常識〉の分野で出題した〔問題-10〕金融機関の経営状況の 2 題でした。

本種目の出題範囲は多岐にわたりますが、通常の業務や近時の関連情報等に即した出題となっています。昨今ではとくに働き方改革について、単に制度内容を押さえておくのにとどまらず、実践につなげるためのより深い理解が求められる問題や、ダイバーシティの考え方などが出題されています。平均点が 5 点を下回った問題のうち、〔問題-4〕は、働き方改革について具体的に問う問題でした。日頃の社会的な動きや制度改革なども注視しつつ、実務に直結させられるよう、当試験をご活用ください。

■ 営業店マネジメント II

「営業店マネジメント II」の成績結果は、〔表-17〕のとおりです。

応募者数 1,660 名中受験者は 1,522 名で、合格

〔表-15〕 事業性評価 3 級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	32	400	0	100	489	107	64	1	1	0	1	104	1,299
応募比率	2.46	30.79	0.00	7.70	37.64	8.24	4.93	0.08	0.08	0.00	0.08	8.01	100.00
受験者数	29	362	0	78	459	94	55	1	1	0	1	82	1,162
受 験 率	90.63	90.50	0.00	78.00	93.87	87.85	85.94	100.00	100.00	0.00	100.00	78.85	89.45
合格者数	26	240	0	37	200	20	23	0	1	0	1	48	596
合 格 率	89.66	66.30	0.00	47.44	43.57	21.28	41.82	0.00	100.00	0.00	100.00	58.54	51.29
平均点	68.69	62.85	0.00	57.54	57.10	51.83	57.09	56.00	62.00	0.00	66.00	60.29	59.02
年 齢	28.8	32.1	0.0	31.1	35.5	35.9	39.4	49.0	56.0	0.0	36.0	38.6	34.5
勤続年数	7.0	9.9	0.0	9.7	13.4	13.9	16.0	27.0	32.0	0.0	17.0	13.8	12.1

〔表-16〕 営業店マネジメント I・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	39	553	0	106	105	48	4	41	0	0	0	175	1,071
応募比率	3.64	51.63	0.00	9.90	9.80	4.48	0.37	3.83	0.00	0.00	0.00	16.34	100.00
受験者数	38	504	0	61	94	44	4	34	0	0	0	143	922
受 験 率	97.44	91.14	0.00	57.55	89.52	91.67	100.00	82.93	0.00	0.00	0.00	81.71	86.09
合格者数	21	161	0	13	28	7	0	11	0	0	0	47	288
合 格 率	55.26	31.94	0.00	21.31	29.79	15.91	0.00	32.35	0.00	0.00	0.00	32.87	31.24
平均点	59.05	56.37	0.00	55.34	55.37	50.45	49.75	56.50	0.00	0.00	0.00	55.73	55.90
年 齢	38.2	41.7	0.0	42.9	42.8	50.6	51.0	41.7	0.0	0.0	0.0	40.6	42.1
勤続年数	14.4	18.7	0.0	20.5	20.6	27.3	28.0	19.0	0.0	0.0	0.0	16.0	18.9

者は833名でした。合格率は54.73%、平均点は59.80点で、ともに前回は上回りました。

最高点は86点で、小林央快さん(トマト銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四択一式と記述式で構成されています。

四択一式で正解率が30%以下となった問題は〈人と組織のマネジメント〉の分野の〔問-7〕チームビルディング、〔問-10〕働き方改革、〈一般常識〉の分野の〔問-37〕SDGsへの取り組み、

の3問でした。また、〈記述式〉で平均点が5点を下回ったのは、〈営業推進〉の分野で出題した〔問-45〕PPM分析とエリア別戦略パターンの1題でした。

本種目の出題範囲は多岐にわたりますが、マネジメントで初級管理者が抱える課題について、理論や手法などの基本なことを重点的に問う試験となっています。今後も幅広い学習を意識し、同時に実務に結び付けられるように当試験をご活用ください。

〔表-17〕 営業店マネジメントⅡ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	13	546	0	179	385	91	49	268	0	0	0	129	1,660
応募比率	0.78	32.89	0.00	10.78	23.19	5.48	2.95	16.14	0.00	0.00	0.00	7.77	100.00
受験者数	13	506	0	157	366	82	41	241	0	0	0	116	1,522
受 験 率	100.00	92.67	0.00	87.71	95.06	90.11	83.67	89.93	0.00	0.00	0.00	89.92	91.69
合格者数	13	311	0	91	186	28	15	123	0	0	0	66	833
合 格 率	100.00	61.46	0.00	57.96	50.82	34.15	36.59	51.04	0.00	0.00	0.00	56.90	54.73
平 均 点	69.00	61.63	0.00	61.11	58.92	53.00	53.85	59.15	0.00	0.00	0.00	59.97	59.80
年 齢	37.1	37.4	0.0	39.1	38.2	44.4	45.1	38.2	0.0	0.0	0.0	36.5	38.4
勤続年数	13.0	14.8	0.0	16.0	16.0	21.7	21.8	14.8	0.0	0.0	0.0	13.6	15.6

事務局からのお知らせ

第149回銀行業務検定試験「財務2級」
出題不備のお詫び

〔問題-6〕の比較貸借対照表上の貸方の前期について、金額に誤りがありました。

つきましては、前期の「合計」を使用する設問の数値に関する解答について、全員正解扱いとして加点いたしました。

受験者をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。